

甲府市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編)  
令和3年度年次報告書

令和5年3月

甲 府 市

# 目次

## 第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画について

1	実行計画の目的	1
2	実行計画の位置づけ	1
3	実行計画の計画期間	1
4	実行計画の中間見直し	1
5	目標年次と削減目標	2
6	対象とする温室効果ガスの種類	2
7	対象とする部門	2
8	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	2
9	関係者の役割	3

## 第2章 2021（令和3）年度の施策の実施状況

1	重点プロジェクト（6つのアクションプラン）進捗状況	4
2	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）取組状況	12

## 第3章 施策の検証

1	実行計画の推進体制	34
2	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見	36

### 【資料】

(1)	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿	38
(2)	平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	39
(3)	SDGs（エス・ディー・ジーズ） 持続可能な開発目標 17の目標	40

## 第 1 章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

### 1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取組を推進し、まちづくりの基本目標の一つである「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる（環境）」〈第六次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

### 2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した施策を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

### 3 実行計画の計画期間

- 現行の実行計画の計画期間は、中期2030（R12）年度、長期2050（R32）年度であり、基準年については、2008（H20）年度としています。

### 4 実行計画の中間見直し

- 2021（R3）年2月、本市は山梨県と県内すべての市町村とともに、2050（R32）年温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。

この表明に伴い、2021（R3）年3月の甲府市地球温暖化対策実行計画中間見直しにおいて、これまで国の目標に沿った「長期目標：2050（R32）年度の温室効果ガス排出量は、2008（H20）年度比で80%削減とします。」を見直し、2050（R32）年温室効果ガス（二酸化炭素）実質排出ゼロを実現することを表明する「ゼロカーボンシティ」を目指すとしました。

なお、脱炭素をめぐる国内外の動向を踏まえ、2022（R4）年度に実行計画の改定を予定しており、より温室効果ガスの削減を推進していきます。

## 5 目標年次と削減目標

■実行計画の温室効果ガスの排出削減目標等は、基準年の2008（H20）年度比で中期目標は、2030（R12）年度までに、25%削減、最終エネルギー消費量は、23%削減とします。

長期目標は、2050（R32）年の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指します。

## 6 対象とする温室効果ガスの種類

■対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF<sub>6</sub>）です。

## 7 対象とする部門

■エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。

■非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等3ガス部門」としています。

## 8 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

### ■6つのアクションプラン

「2050年の甲府市の姿」と長期目標を念頭におきつつ、2030（R12）年度の中期目標の実現に向けた本市の重点的な取組（重点プロジェクト）として、温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」に取組ます。

### ■適応策（P33参照）

6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合への対策に取組ます。

### ◆甲府市地球温暖化対策実行計画の改定について

甲府市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを表明し、脱炭素社会の実現のための取組を進めています。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第6次報告書では、人間の影響が地球温暖化を引き起こしたことをはじめて断定しました。2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするためには、高度な科学技術の開発はもとより、私たちのライフスタイルの変容が求められています。甲府市では2022（R4）年度に「甲府市地球温暖化対策実行計画」の改定を行い、目標達成に向けて市民、事業者、NPO等及び行政の取り組むべき課題を抽出するとともに、国が定めた「地域脱炭素ロードマップ」で地域が取り組むべき重点対策の施策について、実現性や効果等を検証し、本市の取組を実行計画に定めてまいります。

## 9 関係者の役割

### 市民

---

- 市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイルへの転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

### 事業者

---

- 地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との関わりを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

### 学識経験者

---

- 地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

### N P O

---

- 各団体の知識や経験、専門性を活かし、日々の暮らしにおいて、地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、再生可能エネルギー施設の設置(市民共同発電等)、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取組を支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在となり、市民・事業者・行政との連携の橋渡しの役割を担います。

### 甲府市

---

- 積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。
- また、率先して公共施設への再生可能エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。

## 第2章 2021（令和3）年度の施策の実施状況

### 1. 重点プロジェクト（6つのアクションプラン）の進捗状況

- 目標値が定量化されている取組の実績については数値、進捗率については％で表し、また、目標値が定量化されていない取組の実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：◎」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進			
《人づくり・地域づくり・協働の推進》			
<p>（1）環境教育の推進について、「①幼児・学校教育における環境教育の推進」、「②地域・家庭における環境教育の推進」では、放課後児童クラブ等での環境学習講演会や各自治会及び各種団体等を対象とした出前講座などを実施しました。また、「③甲府市リサイクルプラザの活用」では、エコ教室を開催し、環境教育の推進を図りました。</p> <p>次に（2）多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）について、「①地域の温暖化防止活動等の推進」では、地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等を開催しました。また、「こうふの eco」を活用し市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）に努めました。「②地域の人材育成」では、山梨県に地球温暖化防止活動員を推薦することにより、地域の人材育成を図りました。</p>			
取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
（1）環境教育の推進			
①幼児・学校教育における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数		
	単年度目標値	7,600人/年	3,280人 43.2%
②地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数		
	単年度目標値	2,500人/年	1,022人 40.9%
③甲府市リサイクルプラザの活用	甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進		
	【目標値なし】	実施	◎

取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）			
①地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催		
	単年度目標値	5回/年	4回 80.0%
	「こうふのeco」の活用による市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）		
	【目標値なし】	実施	◎
②地域の人材育成	地域コーディネーター数（単年度目標値なし）		
	2030(R12)年度	延べ 100人	延べ 64人 64.0%

アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<p>(1) 太陽エネルギーの活用について、「①太陽光発電システムの導入促進」では、「甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度」により、家庭用太陽光発電システムや住宅用蓄電池の導入促進を図っています。また、「②市民共同発電の推進」や「③太陽熱エネルギーの活用」では、それぞれ設置場所の検討や利用促進を図りました。</p> <p>次に(2) バイオマスエネルギーの活用について、「①バイオマスエネルギーの活用と普及促進」では、「甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度」の活用により普及促進を図っています。</p> <p>(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用、「①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用」では、山宮減圧槽に設置した小水力発電が稼働しています。</p>

取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 太陽エネルギーの活用			
① 太陽光発電システムの導入促進	住宅用太陽光発電システムの導入		
	単年度目標値	3,500t-CO <sub>2</sub> /年	2,422.68t-CO <sub>2</sub> (2,616kW)
② 市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による推進・市民共同発電設備導入		
	【目標値なし】	実施	◎
③ 太陽熱エネルギーの活用	太陽熱エネルギーの活用の推進・太陽熱エネルギー設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎
(2) バイオマスエネルギーの活用			
① バイオマスエネルギーの活用と普及促進	木質バイオマスエネルギーの活用推進、木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進、バイオマス資源のエネルギー活用の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用			
① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進	地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進・設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎



アクションプラン3 潤いある森林の整備			
《森林整備》			
<p>(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）について、「①森林整備の推進」では、甲府市森林計画等の進行管理が適正に行われており、目標を達成しています。また、「②県産材等木材の利用促進」や「③森林の保護、育成に関する意識の醸成」では、森林を利用した環境教育の推進として、間伐体験やネイチャーゲームを実施しました。</p>			
取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）			
①森林整備の推進	森林（市有林、民有林）整備の推進		
	単年度目標値	21,500 t-CO <sub>2</sub> /年	21,500t-CO <sub>2</sub> 100.0%
②県産材等木材の利用促進	県産材等木材の建築物等への利用促進		
	【目標値なし】	実施	◎
③森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林環境保全イベント等の開催		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動	
《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》	
<p>(1) 省エネ行動の普及促進について、「①省エネ行動の普及促進」では、広報こうふ・「こうふの eco」などで情報提供をしています。また、「②緑のカーテンづくりの推進」では、新型コロナウイルス感染防止のため「緑のカーテンづくり」セミナーは中止し、セミナー参加予定者にゴーヤの苗を配布しました。</p> <p>(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進について、「①エコドライブの推進」では、安全運転研修で「エコドライブについて」の説明を行い、その後の伝達研修により多数に周知しています。また、「②公共交通機関の利用促進」では、市内企業等に対して公共交通機関の利用を促す「こうふエコ通勤デー」の依頼を行いました。さらに、「③自転車による環境にやさしい移動の推進」では、（一社）甲府市観光協会が実施する「レンタサイクル甲府」事業を支援し、観光地を環境にやさしく気軽に周遊できる、電動自転車を貸出しているほか、「こうふの eco」においても情報提供を行っており、普及啓発に努めています。</p>	

取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 省エネ行動の普及促進			
①省エネ行動の普及促進	省エネ意識の高揚・醸成及び省エネ機器等の情報の提供・発信、エネルギーの見える化による省エネ行動の実践 ・COOL CHOICEの普及促進		
	【目標値なし】	実施	◎
②緑のカーテンづくりの推進	緑のカーテンづくりイベント等参加者数		
	単年度目標値	100人/年	62人 62.0%
(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進			
①エコドライブの推進	エコドライブの普及促進講習会等参加者数		
	単年度目標値	100人/年	90人 90.0%
②公共交通機関の利用促進	甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上		
	【目標値なし】	実施	◎
	エコ通勤優良事業所数及びエコ通勤デー参加協力事業所数（単年度目標値なし）		
	2030(R12)年度 延べ 15ヶ所 (H24年度から)	延べ 14ヶ所	93.3%
③自転車による環境にやさしい移動の推進	レンタサイクル等の推進及び電動アシスト自転車等の普及促進		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

(1) 建物・機器による省エネの推進について、「①省エネ住宅・施設等の普及促進」では、住宅等における建物の高断熱・高気密化等による省エネ化の普及により、目標を達成しています。また、「②省エネ機器の普及促進」では、「こころのeco」での情報提供に努めています。さらに、「③LED照明の普及促進」では、市立甲府病院や甲府地方卸売市場等の公共施設において照明のLED化に取り組んでいます。

次に(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)について、「①都市緑化の推進」や「②農地の活用」、「③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進」では、「花いっぱい・緑いっぱい運動」の地域緑化及び「緑化教室の開催」による家庭緑化の推進や荒廃した農地の再生整備、透水性舗装による改良工事などを実施しています。

(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進について、「①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討」では、庁用車両にクリーンエネルギー自動車を16台導入しています。「②充電設備の整備、水素ステーションの整備」では、市内に急速充電器10ヶ所、普通充電器32ヶ所が設置されています。また、水素ステーションの整備では、市内で1ヶ所設置されています。

取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 建物・機器による省エネの推進			
①省エネ住宅・施設等の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量		
	単年度目標値	100t-CO <sub>2</sub> /年	162.8 t-CO <sub>2</sub> 162.8%
②省エネ機器の普及促進	トップランナー制度の情報提供省エネ機器の導入によるCO <sub>2</sub> 削減の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
③LED照明の普及促進	公共施設等への率先的なLED照明の導入による普及促進(単年度目標値なし) 令和3年度：108.9t-CO <sub>2</sub> (参考)		
	2030(R12)年度	延べ(H24~) 4,500t-CO <sub>2</sub>	延べ 1,003.02t-CO <sub>2</sub> 22.3%

取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)			
①都市緑化の推進	都市緑化の推進(緑化植樹イベントの開催)		
	【目標値なし】	実施	◎
②農地の活用	耕作放棄地の有効活用		
	【目標値なし】	実施	◎
③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	道路・建物のヒートアイランド対策の推進 (舗装面積 422.0 m <sup>2</sup> )		
	【目標値なし】	実施	◎
(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進			
①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討	クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進		
	【目標値なし】	実施	◎
②充電設備の整備、水素ステーションの整備	充電設備の整備 (単年度目標値なし)		
	2030(R12)年度 急速充電器： 市内 20ヶ所 普通充電器： 市内 50ヶ所	急速充電器： 10ヶ所 普通充電器： 32ヶ所	50.0% 64.0%

アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進について、「①ごみ減量化の推進」では、生ごみ処理機等の購入補助等を行うことで一般家庭から排出される生ごみの自家処理を推進することができました。また、「②資源物の分別排出の推進」では、分別排出普及・啓発を行うために転入者等を対象に冊子の配布を行いました。「③バイオマス資源の循環による活用」においても、EMボカシ・しんぶんコンポストキットの無料配布や廃食油の回収などを実施しています。

取組	目標値	令和3年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進			
①ごみ減量化の推進	食品ロス削減の取組の推進 生ごみの堆肥化の推進 【目標値なし】	実施	◎
	一人1日当たり家庭系排出ごみ (「家庭系排出ごみ」=「家庭系燃えるごみ(433g)」+「家庭系燃えないごみ(67g)」)		
	単年度目標値 563.1g (甲府市一般廃棄物処理基本計画に基づく)	586.3g	96.0%
②資源物の分別排出の推進	プラスチック容器包装の分別回収の推進 ごみへらし隊による出前講座の実施 【目標値なし】	実施	◎
	③バイオマス資源の循環による活用 【目標値なし】	実施	◎

# アクションプラン1

## 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

### イチオシの取組

#### ●地域・家庭における環境教育の推進【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

##### 《内容》

地域の実情に応じて甲府市温暖化対策に取り組む甲府市地球温暖化対策地域協議会（甲府温対協）と甲府市が協働して、室内温度上昇の抑制に寄与する緑のカーテンの普及促進を目的としたゴーヤの苗の配付を実施しました。また、気候変動による防災分野や農業分野への影響と対策について学ぶ機会としてオンラインの地球温暖化対策セミナーを開催しました。

##### 《ポイント》

地球温暖化問題は、私たち一人ひとりが意識を持って取り組むべき課題です。甲府温対協では、一人でも多くの方が環境問題に関心を持ち、甲府市全体が地球にやさしいまちになることを目的に活動しています。



## （１）環境教育の推進

### 《取組の内容》

#### ① 幼児・学校教育における環境教育の推進

##### ＜本市の取組＞

- ◆市内小中学校における環境教育の推進 :実施数 36 校
  - ◇ペットボトルキャップ回収、甲府・峡東クリーンセンター等への社会科見学、河川清掃への参加など
- ◆市内小中学校の学校林活動への協力(森林体験) :実施数 5 校、参加者数 252 人
- ◆放課後児童クラブ等における環境学習講演会の実施 :実施 15 校 参加者数 563 人
  - ◇マイクロプラスチック問題の現状について
- ◆市内小学生を対象とした「太陽エネルギー・自然エネルギー体験教室」  
:実施数 2 校、参加児童数 58 人(NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布 :市内小学校の 4 年生に配布 1,901 冊
- ◆ごみへらし隊による保育園(所)・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催

:開催数 42 回、参加者数 1,440 人

◇エコ工作、工場見学など

<市民、事業者、NPO の取組>

#### 【山梨交通株式会社】

◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験

:甲府市内参加数 3 校、参加児童・生徒数 191 人(全県 6 校 345 人)

#### 【甲府市公立小中学校長会】

◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来イメージ化を図る :実施数 33 校

◇授業や学級活動において、甲府市の実態など環境教育の実施

◆循環型エネルギー施設・設備の設置によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる

:実施数 36 校

◇こまめな消灯、児童会のエコ活動など

◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける

:実施数 28 校(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科・総合、中学は総合)

◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施

エコキャップ集め、ごみの分別、牛乳パック回収、ごみ拾い愛町奉仕作業等 :実施数 36 校

◆環境教育の継続実施と見直し :実施数 31 校

#### 【NPO 法人みどりの学校】

◆幼稚園・保育園(所)・学校等における環境学習会の開催 :開催数 2 回、参加者数 58 人

◇太陽エネルギー体験教室

## ②地域・家庭における環境教育の推進

<本市の取組>

◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働による地球温暖化対策セミナーやイベントの開催

:開催数 2 回、参加者数 87 人

◆ごみへらし隊による各自治会や各種団体等を対象とした、ごみの減量やリサイクル等の環境教育の

開催 :開催数 29 回、参加者数 647 人

<市民、事業者、NPO の取組>

#### 【甲府商工会議所】

◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す、「eco 検定」の実施 :受験者数 33 人

#### 【甲府市公立小中学校長会】

◆事業者や NPO と連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の充実 :実施数 11 校

◇自然体験学習など

◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、家庭でのクリーン作戦、地域の清掃活動の実施

:実施数 14 校



**【生活協同組合パルシステム山梨】**

- ◆環境関連出前講座の実施「手漉きハガキ」、「自然派！お掃除」  
:開催数 2 回、参加者数 23 人

**③甲府市リサイクルプラザの活用**

<本市の取組>

- ◆リサイクルプラザの活用  
環境教育教室や講座の開催  
:開催数 5 回、参加者数 75 人 リサイクルプラザ総利用者数 50,809 人

<市民、事業者、NPO の取組>

**【NPO 法人みどりの学校】**

- ◆リサイクルプラザを活用しての啓発活動  
ミニソーラー工作教室等をはじめとするワークショップや自然エネルギー体験学習を開催  
:開催数 1 回、参加者数 15 人

**(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進(産学官民協働の推進)**

《取組の内容》

**①地域の温暖化防止活動等の推進**

<本市の取組>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、ゴーヤの苗の配布、地球温暖化防止推進セミナーの開催 :実施数 2 回
- ◆甲府市環境コミュニティの活性化  
温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ行動についての情報提供  
:ホームページアクセス件数 5,313 件(庁内からのアクセスは除く)

<市民、事業者、NPO の取組>

**【NPO 法人みどりの学校】**

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会他、地域の団体等との協働による地球温暖化防止の推進  
学習会やセミナー開始時に緑のカーテン等の啓発活動 :開催数 3 回、参加者数 73 人

**【甲府市地球温暖化対策地域協議会】**

- ◆山梨県内の環境関連団体等との連携の拡大 :参加回数 1 回  
「第 23 回ライトダウンやまなし～きみと星が必要です」の開催協力

**【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】**

- ◆山梨県環境教育ミーティングの実施 :1 回、参加者数 40 人

**②地域の人材育成**

<本市の取組>

- ◆山梨県へ地球温暖化防止活動員に推薦することによる人材育成  
:コーディネーター数 延べ 64 人



<市民、事業者、NPOの取組>

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地球温暖化防止活動推進員及び関連活動を実施している人を対象とした研修会の開催  
:開催数 2回、参加者数 41人

### アクションプラン1の課題

<本市の課題>

- ◆新型コロナウイルスの蔓延の長期化に伴い、オンラインによる出前講座や動画の活用を検討する必要がある。

<市民、事業者、NPOの課題>

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆各学年によって、生活科や、総合、社会など分けているが、教科をを分けずに他の科目でも（例えば算数でCO2排出量の計算、図工で目指す2050年の姿の絵を描くなど…）温暖化対策計画・重点プロジェクトを学ぶ機会を設けてもよいのではないか。（委員からの意見）

<市域全体の課題>

- ◆学校教育や地域・家庭における環境教育の推進、地域の温暖化防止活動等は、意識啓発として非常に重要な取組である。甲府市・事業者・NPO等が相互に連携し、より地球温暖化問題を生活に近い問題として捉えられるような取組が必要である。

## アクションプラン2

### 再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

#### イチオシの取組

#### ●木質バイオマス利用等の啓発活動等【NPO 法人みどりの学校】

##### 《内容》

学習会での地球温暖化についてのレクチャーの中で、木質バイオマスの利用について説明したり、外の体験学習でソーラークッカーを使った調理ができない場合は、ウッドガスストーブを使って調理実演することもあり、実際に目で見て学習してもらっています。



実演

##### 《ポイント》

太陽エネルギーを使った場合 CO2 排出はゼロ、木質バイオマスを使った場合は、カーボンニュートラルで増えも減りもしない、ガスなどの化石燃料を使った場合は、CO2 が増えるなど、調理の熱源によって、CO2 排出に差があると比較して説明しています。

ちょうりなどに、むかしのように木をもやすと、ガスをもやすより二さんかたんそをへらすことができます。



ウッドガスストーブ

木は、もやすと二さん化たんそを出すけど、育つ時に、二さん化たんそを吸ってくれるよ！（二さん化たんそのりょうは、プラスマイナスゼロ）

パワーポイントの画像

### (1) 太陽エネルギーの活用

#### 《取組の内容》

#### ① 太陽光発電システムの導入促進

##### <本市の取組>

##### ◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度

住宅用蓄電池設置 : 助成件数 56 件

住宅用太陽光発電システム及び蓄電池設置 : 助成件数 71 件、総出力量 507.66kW

##### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【国母工業団地工業会】

◆太陽光発電システムの使用【井上鋼材(株)、YITOA マイクロテクノロジー(株)、パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)、(株)サンニチ印刷、(株)東日製作所、(株)甲府明電舎】

: パネル枚数 7,835 枚、発電量合計 1,383,994kW

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆P2G(Power to Gas)システムの技術開発及び実証研究への参画

山梨県および一般企業と共同で新会社を設立し、水素製造装置の海外輸出に向け計画通り実施した。

### 【パルシステム山梨】

- ◆FIT(再生可能エネルギー)電力中心の「パルシステムでんき」の普及  
:契約数 甲府市内 201 件(全県 1,717 件)

### ② 市民共同発電の推進

#### <本市の取組>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO 等が実施する自然エネルギー発電設備を設置運営した費用の一部を助成し、CO<sub>2</sub>削減の推進  
: 設置場所などについて検討を行った

#### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の取組についての情報提供: ホームページ上で啓発を行った
- 【甲府市地球温暖化対策地域協議会】
- ◆太陽光発電、太陽光熱利用の新規共同施設の建設に関する検討 : 検討会開催数 1 回

### ③ 太陽熱エネルギーの活用

#### <本市の取組>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、太陽熱エネルギー活用についての情報提供

#### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供  
各種学習会・イベントにて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供: 実施数 3 回、参加者数 73 人
- ◆市民共同の太陽エネルギーの活用  
公共施設等への市民立共同の太陽エネルギー設備設置に向け、調査研究を行った。

## (2) バイオマスエネルギーの活用

### 《取組の内容》

#### ① バイオマスエネルギーの活用と普及促進

#### <本市の取組>

- ◆汚泥焼却炉における重油(化石燃料)を代替エネルギー(木質系補助燃料[ペレット])に転換  
: 代替エネルギー転換率 71.6%(ペレット使用量 104,820 kg)
- ◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度(令和元年 7 月 1 日施行)  
木質ペレットストーブ導入 : 助成件数 3 件
- ◆バイオマス資源の活用  
木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると難しい状況であるため、他市等の動向を注視する中で情報収集に努めた。

<市民、事業者、NPO の取組>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆木質ペレットストーブの使用 :1 台(既存)継続使用(一宮センター)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆各種学習会、イベント等で木質バイオマス利用の啓発活動 :実施数 3 回、参加者数 73 人

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆木質バイオマスエネルギー利活用の相談窓口 :導入調査実施件数 3 件

- ◆木質バイオマスストーブの普及啓発

展示や実演による木質バイオマス利用の PR 活動 :参加者数 約 200 人

- ◆未利用(切捨て間伐材、市場等の端材、製作所のおがくず)な木質資源の活用提案 :提案件数 1 件

### (3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

《取組の内容》

#### ①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進

<本市の取組>

- ◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽(小水力発電)の運営  
:CO<sub>2</sub>削減量 589.54t-CO<sub>2</sub>/年(令和3年度総発電量 1,336,823kwh)

- ◆上下水道施設における再生可能エネルギーの利活用検討

長期財政への影響を確認するとともに、給水の安全性の確保の観点から、水運用上関連する他の施設更新スケジュールとの調整を行い、小水力発電設備工事(和田減圧槽築造工事)の実施時期について検討を行った。また、再生可能エネルギーの利活用に向け、国等の動向を注視し情報収集を進めた。

### アクションプラン2の課題

<本市の課題>

- ◆太陽光発電システムの導入については初期費用が大きな負担となっているため、クリーンエネルギー機器普及助成金制度の果たす役割は大きい。さらなる普及促進のためには、市民がより利用しやすい助成メニューへの見直しや、より一層の制度周知が必要である。

<市民・事業者・NPOの課題>

- ◆家庭用太陽光発電システムの普及は進んできているので、事業所に向けた普及促進の取組も必要である。

## アクションプラン3

### 潤いある森林の整備

《森林整備》

#### イチオシの取組

#### ●間伐材の有効活用の促進【甲府市】

##### 《内容》

本市の水源林である奥御岳市有林において、森林の有する公益的機能の適切な発揮のために、間伐を行い、その間伐材を搬出・販売しています。販売した間伐材は、合板等の建築用材やチップ等の燃料用材として有効活用されています。



##### 《ポイント》

森林は、木材の供給はもとより、水源かん養、災害防止、生物多様性の保全及び二酸化炭素吸収等の公益的な機能を有しています。この機能を維持・発揮するためには、間伐等の適切な森林整備が欠かせません。また、木材を建築用材や燃料用材として利用することで、二酸化炭素固定機能や化石燃料代替機能を発揮させ、地球温暖化の防止に貢献することができます。



### (1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

#### 《取組の内容》

#### ① 森林整備の推進

##### <本市の取組>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業 : 間伐面積 11.61ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 : 造林面積:2.61ha 下刈面積 6.43ha
- ◆森林病虫害防除事業の実施 : くん蒸処理数量 153.54 m<sup>3</sup>、枯損木処理数量 206.83 m<sup>3</sup>
- ◆間伐材の有効活用の促進 : 販売数量 210.427 m<sup>3</sup>

##### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【中央森林組合】

- ◆間伐整備(甲府市の民有林で間伐材の搬出) : 搬出材積 210.427 m<sup>3</sup>
- ◆民有林の下草刈り : 下草刈り面積 3.91ha

## ② 県産材等木材の利用促進

### <本市の取組>

- ◆ 公共施設への県産材等木材の利用について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で紹介

## ③ 森林の保護、育成に関する意識の醸成

### <本市の取組>

- ◆ 森林を利用した環境教育の推進  
自然とふれあいながら間伐体験やネイチャーゲームを体験する環境教育の実施  
:参加団体 2 団体、参加者数 42 人

## アクションプラン 3 の課題

### <本市の課題>

- ◆ 間伐事業は、森林の公益機能の高度発揮のために重要な取組である。市民意識の醸成のためにも、「水源林植樹の集い」の開催のほか森林資源を活用した環境教育も必要である。

### <市域全体の課題>

- ◆ 県産材等の木材は、公共施設だけではなく一般住宅や事業者による利用促進も必要である。

## アクションプラン4

### 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

#### 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

#### イチオシの取組

#### ●事業者としての情報提供・人的支援（HPにて省エネに関する情報の発信）【東京電力グループ】

##### 《内容》

電気を効率的に、快適に、大切にご使用いただくために必要な省エネについてお伝えしています。



HP 画面

##### 《ポイント》

エネルギーをどのように使っていくのかは、非常に大切なことです。ここでは、「電気」を効率的にご使用いただくため、省エネの必要性や、私たちにできる省エネなどについてお伝えします。また、脱炭素の実現に向けまちづくり支援を継続してまいります。

### (1) 省エネ行動の普及促進

#### 《取組の内容》

#### ①省エネ行動の普及促進

##### <本市の取組>

- ◆広報こうふ「スマートライフ通信」の掲載や温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において情報提供  
: 広報こうふ掲載数 6 回(隔月)

##### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【国母工業団地工業会】

- ◆「生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導く IT 活用事業」による年間購入電力の削減  
: 実施事業所数 16 社

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆省エネについて東京電力 HP での情報発信や関係機関などへの情報提供

#### 【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆環境イベント等での普及啓発  
「山梨・甲府への地球温暖化の影響」をテーマとした市民向けセミナー等実施 : 参加数 87 人
- ◆協議会のウェブサイトにおいて、イベント等の情報や活動内容の周知

#### 【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆全国地球温暖化防止活動推進センターの統一アンケートを各種イベントや教室時に実施  
: アンケート調査件数 408 件



- ◆「地球温暖化防止まずはこんなところから」シート等、温暖化防止に関する資料を甲府市内の小学校へ配布 : 配布件数 212 件

## ② 緑のカーテンづくりの推進

<本市の取組>

- ◆緑あふれるまちづくり(緑のカーテン)の推進
  - : ゴーヤの苗の配布数 幼稚園等 937 本、小学校等 320 本、公共施設 260 本、合計 1,517 本
  - : 「緑のカーテン」づくりセミナー参加者へ配布 参加者数 62 人
  - ※セミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ◆市立甲府病院の壁や窓、上下水道局本庁舎南側に、ゴーヤによる緑のカーテンを設置

<市民、事業者、NPO の取組>

### 【国母工業団地工業会】

- ◆ぶどうによる緑のカーテンづくりの実施 : 参加企業 5 社、カーテン面積 131 m<sup>2</sup>

### 【山梨みらい農業協同組合】

- ◆ゴーヤによる緑のカーテンづくりの実施 : 設置数 2 店

### 【甲府市公立小中学校長会】

- ◆学校等における緑のカーテンづくりの実施 : 実施数 18 校

### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動 : 実施数 3 回、参加者数 73 人

### 【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆緑のカーテンの普及促進
  - 協議会で栽培した苗を学校や公共施設等へ配布し、緑のカーテンの実践と普及啓発を図る
  - : 緑のカーテン配布数 2,300 苗

## ③ 甲府市（事務・事業）の優先的取組

<本市の取組>

- ◆実行計画(事務事業編)における公共施設等のエネルギー原単位の削減(基準年度:平成 25 年度)
  - : 基準年度比
  - 公共施設  $\Delta$ 21.9% ◇昼休みの消灯、クールビズ、ウォームビズによる省エネ
  - 公用車  $\Delta$ 34.7% ◇スマートムーブの推奨、公用車のクリーンエネルギー化

## (2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《取組の内容》

### ① エコドライブの推進

<本市の取組>

- ◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施 : 参加者数 90 人
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、エコドライブの運転方法についての情報提供



<市民、事業者、NPO の取組>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコドライブの普及啓発活動(各種学習会での情報提供等) :開催数 3 回、参加者数 73 人

## ② 公共交通機関の利用促進

<本市の取組>

- ◆公共交通を考える機会の創出

個人の利用ニーズに応じたオリジナルの「マイバス・鉄道時刻表」の作成・提供事業等の実施

- ◆分かりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できる「やまなしバスコンシェルジュ」の普及啓発 :キャンペーン数 3 回

- ◆公共交通に対する地域主体の取組を支援するため、地区説明会を実施

:実施地区数 2 地区

- ◆「サイクル・アンド・ライド」の推進 :民間施設事業者等との協議の実施

- ◆「エコ通勤優良事業所認証制度」について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で周知・普及促進活動

:認定事業所数 3 ヶ所

<市民、事業者、NPO の取組>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営

携帯端末に加えて、甲府駅南口でデジタルサイネージでの情報提供、システムの利便性と認知度の向上を図り路線バスの利用促進に繋げた。:サイトへのアクセス件数 約 32,983(件/月平均)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施による CO<sub>2</sub>削減

:参加者数 3 人(228.3kg-CO<sub>2</sub>削減)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆公共交通利用の情報提供 :実施数 2 回、参加者数 58 人

【東京電力グループ】

- ◆公共交通機関の利用推奨によるエコ通勤の促進 :エコ通勤率 75.6%

## ③ 自転車による環境にやさしい移動の推進

<本市の取組>

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」:貸出台数 1,400 台

- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、甲府市レンタサイクル事業等についての情報提供

## アクションプラン4の課題

<本市の課題>

- ◆省エネ行動の普及啓発手段として、現在、広報こうふや温暖化対策情報サイト「こうふの eco」を活用しているが、さらに多くの機会を捉えて情報提供を行い啓発する必要がある。

<市域全体の課題>

- ◆自動車保有率の高い甲府市では、公共交通機関の利用促進は難しい取組であるものの、市域全体で取り組んでいく必要がある。

## アクションプラン5

### 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

#### イチオシの取組

#### ●燃料電池車（社用車）の運用【山梨交通株式会社】

##### 《内容》

社用車として導入した燃料電池車1台を運用し、構内に設置された水素ステーションとともに普及啓発を図りました。

令和4年7月より、社用車からタクシー車両に変更して活用します。利用者に実際に乗車いただき、燃料電池ならではの快適な運行や、CO<sub>2</sub>排出のない事の普及啓発を図ります。

また、路線バスとしてEVバスを2台導入し、燃焼行程が無いためゼロ・エミッション（排出ガス0）を実現。ディーゼル車両と比較した場合、1ヶ月の運行で約2トン以上ものCO<sub>2</sub>を削減します。AC100V電源を搭載しており、震災や台風等の自然災害発生時には、EVバスが防災ステーションとしての役割を担う事ができます。



燃料電池車

##### 《ポイント》

タクシーとして運用することにより、実際に市民の方に乗っていただき、実感してもらう事がポイントです。燃料電池自動車は、おそらく一般の方には電気自動車と違いが判らないのではないかと思われ、水素により電気を発電して、モーターにより走行していることを広めていきます。

### （1）建物・機器による省エネの推進

#### 《取組の内容》

#### ①省エネ住宅・施設等の普及促進

##### <本市の取組>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、省エネ住宅等についての情報提供

長期優良住宅新規認定件数 : 296 件

- ◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度

◇住宅用蓄電池、住宅用太陽光発電システムと蓄電池設置(同時設置)、ペレットストーブ設置に 助成

## ②省エネ機器の普及促進

<本市の取組>

- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ機器についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取組>

【東京ガス山梨株式会社】

- ◆エコジョーズの導入促進活動による CO<sub>2</sub>削減  
:導入台数 都市ガス 154 台 LPガス用 43 台 CO<sub>2</sub>削減量 223kg-CO<sub>2</sub> /台
- ◆エネファームの導入促進活動による CO<sub>2</sub>削減 :導入台数 6 台、CO<sub>2</sub>削減量 1,330 kg-CO<sub>2</sub>/台
- ◆企業での高効率機器設備の普及促進  
ガスコージェネレーションシステム等の高効率機器設備:販売台数 57 台

【甲府市自治会連合会】

- ◆家庭用電池の普及  
自治会連合会の会議等で、家庭用蓄電池について周知を図った。

## ③LED照明の普及促進

<本市の取組>

- ◆防犯街路灯のLED化等への補助 :補助灯数 46 灯
- ◆甲府市地方卸売市場整備計画における照明設備のLED化  
:LED化数 712 灯、CO<sub>2</sub>削減量 65.1t-CO<sub>2</sub>
- ◆都市公園等の照明をLED化に改修(省エネ・グリーン化推進事業)  
:LED化数 27 灯、CO<sub>2</sub>削減量 4.5t-CO<sub>2</sub>
- ◆市立甲府病院内の照明器具をLED化 :LED化数 177 灯、CO<sub>2</sub>削減量 21.811t-CO<sub>2</sub>
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、LED 照明導入による省エネ効果についての情報提供

## (2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)

《取組の内容》

### ①都市緑化の推進

<本市の取組>

- ◆花いっぱい緑いっぱい運動による「地域緑化」の推進(6種類の花苗の配布)  
:配布団体数 107 団体、配布株数 85,285 株
- ◆緑化教室の開催による「家庭緑化」の推進 :開催数 5 回
- ◆自主的な美化活動を行う公園美化活動団体の設立の促進 :設立団体数 3 団体(計 28 団体)
- ◆生垣設置助成 :申請件数 3 件 生垣整備距離 32.8m
- ◆市保存樹木制度による樹木の指定 :指定本数 8 本
- ◆新築記念としてキンモクセイ・オオムラサキツツジの苗木を配布 :配布数 2 本

<市民、事業者、NPO の取組>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆屋上緑化の実施(本部・一宮センター) :実施事業所数 2ヶ所

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆屋根緑化の情報提供(学習会、各種セミナー等)

:実施数 3 回、参加者数 73 人

#### ②農地の活用

##### <本市の取組>

- ◆荒廃した農地の再生整備

農地の再生利用に向けた機械の貸付による耕作放棄地の解消 :再生整備面積 9,737 m<sup>2</sup>

- ◆市民農園の貸出

市民農園開発希望者に開設までの法的手続きの等への申請補助

:市民農園貸出区数 74 区画

#### ③建物・道路等のヒートアイランド対策の推進

##### <本市の取組>

- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策 :道路改良工事等 実施面積 1,016 m<sup>2</sup>

### (3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進

#### 《取組の内容》

#### ①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討

##### <本市の取組>

- ◆公用車への電気自動車・燃料自動車の導入

:保有台数 16 台(電気自動車 7 台、ハイブリッド車 8 台、燃料電池車 1 台)

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、クリーンエネルギー自動車についての情報提供

##### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【国母工業団地工業会】

- ◆社有車への電気自動車の導入 :導入台数 3 台 充電スタンド 8 台

#### 【甲府商工会議所】

- ◆公用車に電気自動車を導入し、PR 活動を実施 :保有台数 1 台

#### 【山梨交通株式会社】

- ◆社用車に燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施 :保有台数 1 台

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆EV・PHVならびにV2H(Vehicle to Home)普及促進に向け、イベント等でPRを実施 :実施数 8 回

#### ②充電設備、水素ステーションの整備

##### <本市の取組>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、クリーンエネルギー自動車や充電器設置場所等の情報提供

## アクションプラン 5 の課題

### <本市の課題>

- ◆公共施設等への率先的な LED 照明の導入については、今後も積極的に行う必要がある。また、気候変動に起因する災害に備えて、避難所等への太陽光発電システム・蓄電池の導入も推進する必要がある。


### <市民・事業者・NPOの課題>

- ◆大企業では、中長期環境目標を策定して環境負荷の少ない事業活動が推進されている。地域の中小企業においても、省エネ活動を推進していく必要がある。

## アクションプラン6

持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

イチオシの取組 

● バイオマス資源の循環による活用（家庭で不用になった食用油の分別回収、EM ボカシの配布、しんぶんコンポストキットの配布【甲府市】）

《内容》

**不要になった食用油の分別収集**

資源の有効活用と環境負荷の軽減を目的に、平成 19 年度から回収を開始しました。毎月、公民館等で回収を行っています。



**EM ボカシの配布**

生ごみの減量化と堆肥化を目的に、平成 8 年度から生ごみ発酵促進剤である EM ボカシの無料配布を開始しました。登録していただいた世帯へ、市環境センターや公民館で配布を行っています。

**しんぶんコンポストキットの配布**

可燃ごみの減量化の一環として、生ごみの堆肥化が家庭で気軽にできるように、平成 25 年度から無料配布を開始しました。初めての方にはカゴと基材のセットを配布し、2 回目以降の方には基材を配布しています。

《ポイント》

**不要になった食用油の分別収集**

収集した食用油は、家畜用飼料として再利用されています。

**EM ボカシ・しんぶんコンポストキットの配布**

EM ボカシやしんぶんコンポストは、家庭から出る生ごみを分解して堆肥化することによって、生ごみの排出量を減らすことができ、肥料として再利用することができます。



## (1) 廃棄物の3R (Reduce・Reuse・Recycle) の推進

### 《取組の内容》

#### ①ごみの減量化の推進

##### <本市の取組>

- ◆生ごみ処理機購入補助 : 補助件数 70 件(容器式 18 件、電気式 52 件)
- ◆有価物回収事業 : 自治会への報奨金交付件数 360 件
- ◆資源回収推進事業 : 資源物回収量 2,348.03t
- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業 : 陶磁器製食器回収量 6.60t  
(リユース:リサイクルフェアにおいて無料配布、リサイクル:再生食器の原材料としている)
- ◆リサイクル推進員制度の活用 : 活動延べ人員 3,364 人
- ◆使用済み小型電子機器回収 : 回収量 6.20t
- ◆容器包装廃棄物(紙箱・紙袋・包装紙)の分別回収 : 紙製容器包装類回収量 7.91t
- ◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発 : 減量化等計画書の提出件数 66 社
- ◆中小規模事業者への訪問調査指導 : 訪問調査指導数 806 回
- ◆食品ロス削減マッチングサービス「甲府タベスケ」活用によるごみ減量化:削減量 357.72kg

##### <市民、事業者、NPO の取組>

#### 【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業による共同リサイクル事業、紙類(ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙)の分別回収再利用、廃プラ・木くずの固形燃料化 : 紙類回収量 688t 廃プラ・木くず回収量 281t

#### 【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品原料(トイレトペーパー等)として利用 : 古紙回収量 60,612kg

#### 【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆商品包装等の回収の呼びかけ : 容器の回収率  
リユースびん[66.8%]、紙(牛乳)パック[62.7%]、ABパック[21.1%]、商品案内(カタログ)[74.3%]、注文用紙[68.2%]、ポリ袋[28.1%]、たまごパック[79.5%]、食材セットトレイ[74.8%]、米袋[45.3%]、ペットボトル[57.8%]

#### 【甲府市自治会連合会】

- ◆分別の徹底によるごみの減量化(有価物):有価物回収量 1,284.08t

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆事業場産業廃棄物リサイクルの推進 : リサイクル率 99%

#### ②資源物の分別排出の推進

##### <本市の取組>

- ◆ミックスペーパーの分別回収の推進:ミックスペーパー回収量 1,284.08t
- ◆プラスチック製容器分別回収:その他プラスチック製容器包装回収量 861.48t
- ◆分別排出普及啓発用冊子等の作成・配布:冊子の配布数 6,626 冊



- ◆ごみへらし隊による出前講座:自治会・各種団体等を対象にごみの減量・再資源化をテーマにした啓発活動の開催:開催数 9 回 参加者数 230 人

### ③ バイオマス資源の循環による活用

#### <本市の取組>

- ◆下水汚泥焼却灰の再利用 : 焼却灰の再利用 583.4t
  - ◇セメント原料として再利用
- ◆家庭で不用になった食用油の分別回収 : 廃食用油回収量 8,460ℓ
  - ◇家畜用飼料として再利用
- ◆生ごみ発酵促進剤 EM ポカシ無料配付 : ポカシ配付実数 27,039 袋
- ◆しんぶんコンポストキットの無料配付 : 配布数 73 件 298 袋

#### <市民、事業者、NPO の取組>

##### 【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化、廃食用油の回収
  - : 生ごみ発生量 17,708kg (5 社で取組) 廃食用油回収量 648ℓ (1 社で取組)

##### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆生ごみの資源化の情報提供
  - 各種学習会において、食品残さの減量、コンポスト、EM ポカシ等の発酵促進剤による生ごみの資源化等についての情報提供 : 実施数 2 回、参加者数 58 人

### アクションプラン 6 の課題

#### <市域全体の課題>

- ◆ごみの減量化においては、分別回収の徹底・リサイクルの推進も有効であるが、何よりも「ごみを出さない」ことが重要である。今後も、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たすことで、ごみ排出抑制に努める必要がある。

# 地球温暖化への適応策

## 各分野における適応策の方向性

### (1) 健康被害の予防

影響	<p>熱中症による救急搬送患者が増加し、特に高齢者や子どもは重症化のリスクが高まることに加え、マラリヤやデング熱などの感染症の増加等が懸念されます。</p> <p>特に熱中症のリスクは、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、暑さに対する体の調節機能が低下する高齢者において高くなります。</p>
----	--

#### 《取組の内容》

##### <本市の取組>

#### 《熱中予防対策》

- ◆市ホームページや子育てアプリ等を活用した啓発活動  
子育てアプリ「すくすくメモリーズ」や「甲府市防災アプリ」による注意喚起  
◇熱中症予防声掛けプロジェクト実行委員会が主催する「ひと涼みアワード 2021」において、オンライン啓発部門最優秀賞を受賞
- ◆ポスター掲示、庁舎前大型ビジョン、広報、ラジオ、防災無線などを利用した普及・啓発
- ◆イベント時におけるのぼり旗、リーフレット等を活用した普及・啓発
- ◆観光客、外国人を対象とした普及・啓発
- ◆保健師及び管理栄養士が受け持ち地区での地区活動を活用した熱中症に関する周知
- ◆住民の自助・共助を促す普及・啓発
- ◆各種教室等実施の際に(ウォーキング教室)熱中症に関する情報提供
- ◆健康づくりに関わる地区組織等会議で、声かけ活動、地区回覧物等での熱中症予防の周知の依頼
- ◆フレイル予防教室等や個別支援において、高齢者に熱中症予防・対策の伝達
- ◆母子健康手帳発行時と乳幼児健診に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発

#### 《クールシェアスポットの設置》

- ◆クールシェアスポットの設置について関係施設の協力要請
- ◆上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放し休憩スペースとして活用、希望者には「甲府の水」の配布

#### 《ヒートアイランド対策》

- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策(再掲):道路改良工事等 実施面積 1,114.1 m<sup>2</sup>

##### <市民、事業者、NPOの取組>

#### 【甲府市公立小中学校長会】

#### 《熱中症注意喚起》

- ◆保健だよりによる熱中症の症状や予防などの情報掲載、休み時間における全校放送や熱中症予防指針による全校児童への啓発

《子どもたちを暑さから守るための取組》

- ◆外遊びの制限、校内放送による呼びかけ、帽子着用、水筒での水分補給、汗拭きタオル持参などの指導の徹底
- ◆職員会議において熱中症対策について養護教諭からの説明、提案や職員への周知
- ◆こまめな水分の補給や木の下等による休憩、戸外での運動制限の実施
- ◆職員室前に熱中症の危険度の掲示
- ◆下校時に傘や日傘を利用した暑さ対策の実施
- ◆玄関や保健室前へのミスト設置による局所的な気温の軽減対策

《冷房・サーキュレーター等の活用》

- ◆冷房とサーキュレーターの併用活用
- ◆ミニスポットクーラーの設置、体育での大型扇風機の活用

《熱中症予防対策マニュアル等の活用》

- ◆熱中症予防対策マニュアルに準じた確認熱中症予防への取組

【みどりの学校】

- ◆緑のカーテンによる熱中症予防の有効性について学習会やセミナー時に情報提供

**(2) 自然(水)災害**

影響

近年、気候変動の影響による局地的な集中豪雨により、甚大な豪雨・洪水の被害が発生しています。今後も、その頻度が増し、河川洪水の機会が増加することが予測されます。

《取組の内容》

＜本市の取組＞

- ◆ホームページや防災情報 Web 内の体感ハザードマップへの掲載による、洪水浸水想定区域などの周知
- ◆「わたしの避難行動計画(マイ・タイムライン)」をホームページや広報へ掲載、「水害避難の地区研修会」による水害時の避難についての啓発
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、世界各地の異常気象などについての情報提供

＜市民、事業者、NPO の取組＞

【甲府市公立小中学校長会】

《防災マニュアルへの記載》

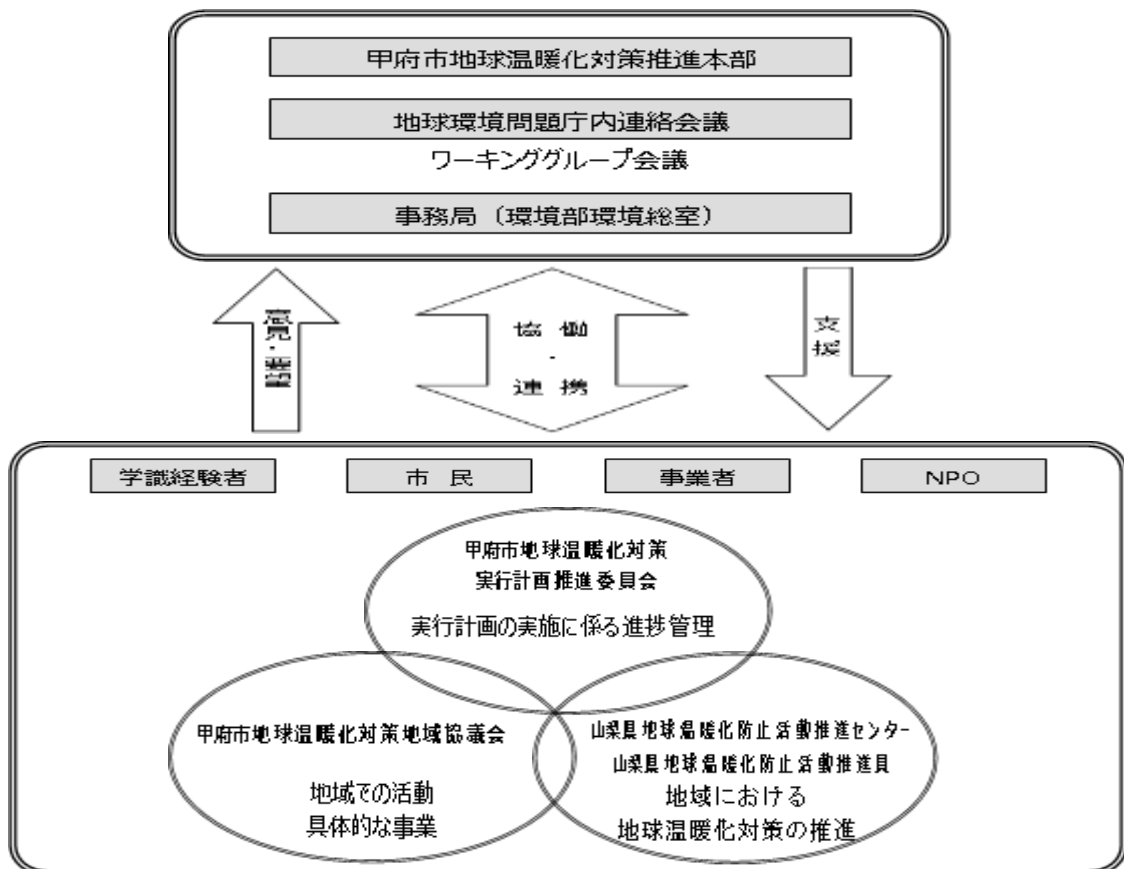
- ◆豪雨・洪水対策マニュアルの見直しや確認の実施
- ◆危機管理(防災)マニュアルの「風水害等防災計画」、「災害時に増水の危険のあるところ」について、近隣校と避難方法の確認
- ◆防災マニュアルに豪雨・洪水への対策の記載や見直しに対応した避難訓練の実施
- ◆「災害発生時の留意点」に連絡体制や緊急業務の記載
- ◆保護者に「緊急時対応マニュアル」を配布し、災害発生時の児童の引き渡し方法等の周知
- ◆防災地図を作成し、年度当初や天気予報に応じて教職員に周知徹底
- ◆安全マップに洪水危険箇所の明示
- ◆地域防災マップ、地域安全点検マップを作成し、水路等の表示、確認

<p>《危険箇所の周知》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の危険箇所について集団下校時に随時点検、職員間の共通理解の徹底</li> <li>◆マメルメール(全家庭加入)を使った注意喚起や登下校時間の変更等の迅速な情報提供</li> <li>◆豪雨時における校内区の側溝や河川の状況等の職員による確認や付添等による登下校時の安全確保</li> <li>◆注意報や警報の発令により豪雨や洪水が予想される場合への全校体制での対応の徹底</li> <li>◆防災訓練を複数回実施</li> <li>◆地域の見守り隊など諸団体との連携による危険個所の確認</li> </ul> <p>【NPO 法人みどりの学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験学習やイベント時に、ソーラークッカー、ウッドガスストーブ、太陽光発電蓄電ライト、手回し発電ライト・ラジオ等の再生可能エネルギーで動く生活用品の備えや災害時における実用性の啓発</li> </ul>	
<p><b>(3) 水環境・水資源</b></p>	
影響	<p>気候変動による渇水や洪水などの水環境・水資源へのリスクが高まります。</p>
<p>《取組の内容》</p> <p>＜本市の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、水源かん養林のもつ重要な役割やその機能保全の取組、節水や雨水利用など水資源の保全などの情報提供</li> </ul>	
<p><b>(4) 食料</b></p>	
影響	<p>コメ、野菜、果樹等の品質低下(巨峰系品種の着色遅延、収穫期や収穫に近い品種の一部で果梗部の褐変、果粒の軟化など)の影響が懸念されます。</p>
<p>＜本市の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供</li> </ul> <p>＜市民、事業者、NPO の取組＞</p> <p>【山梨みらい農業協同組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆敷地内の自販機を災害援助自販機に変更することで、災害時の飲料・携帯電話非常用電源を確保 導入台数:1台</li> </ul>	
<p><b>(5) 自然生態系</b></p>	
影響	<p>地球温暖化は生物多様性の危機の一つと考えられ、これまで生息していた生物の生息域が変化し、私たちの身近な生活にも影響を及ぼします。</p>
<p>＜本市の取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供</li> </ul>	

### 第3章 施策の検証

#### 1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取組に遅れがある場合は改善策を検討します。
- 市内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一的かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 市内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。



甲府市地球温暖化対策実行計画の推進体制

## 2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 令和3年度の「市の取組」及び「市域での取組」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。

<b>アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進</b> 《人づくり・地域づくり・協働の推進》
■教育機会を通じて環境活動への意識醸成を行う事は大切な取組と考える。一方、マンネリ化や陳腐化を防ぐために、内容については時勢にあった内容に随時見直しを行うと同時に、参加する機会等に不公平感が出ないように配慮すべきと考える。主に子どもたちに向けての取組が多く、とても意義があると思う一方、多世代が問題意識をもてるような取組がもっと増えると良い。
<b>アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進</b> 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
■日照時間が長い本県の地域特性や、災害に備えたレジリエンスの向上等の観点から、導入ポテンシャルの高い太陽光発電設備・蓄電池の導入は各主体がそれぞれ取り組む必要がある。初期投資のかからないモデルの普及啓発等による一層の導入促進が課題と考える。エネルギーの地産地消とも絡めた、市民立共同発電所の設置に向けた検討を是非前向きに議論していただきたい。 ■国のエネルギー政策を持続可能な再生可能エネルギー主体にシフトしていかないと、進まないのかと思う。送配電の問題や価格のあり方の問題、電力市場には再生可能エネルギーの普及を阻む課題が多くあると思う。自治体としてこれらの問題を訴えていくことが重要ではと思う。
<b>アクションプラン3 潤いある森林の整備</b> 《森林整備》
■吸収源対策等、森林の公益的機能を高めるためには、適切な整備・保全が欠かせないことから、適正な間伐、野生鳥獣害からの防除対策等、各主体の取組が重要である。引き続き、適切な森林整備を行っていくことが課題である。 ■コロナの影響で開催できなかった取組が多かったが、その中でも、「水源林植樹の集い」は生きるのに必要な水を確保する、守るということにもつながるので、今年度の開催に期待したい。また、森の整備によってどのくらいCO2排出が抑えられたかが数値として表れると意味が伝わると思う。
<b>アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</b> 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》
■学校における緑のカーテンづくりに、教職員の負担が大きいと問題があるとのこと。子どもたちの学習環境の向上と温暖化対策としても、絶やさぬ工夫が必要だと思う。横のつながりで温対協さんなどの協力や連携をコーディネート出来れば良いと思う。 ■継続性や取り組む企業数、参加人数について目標設定して管理すべきである。

**アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換**

**《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》**

- 省エネのための「心がけ」の取組も必要だが、再エネ・省エネ設備導入の促進や次世代自動車の普及など、ハード面で効果が約束される対策の推進が重要なため、アクションプラン5の取組(1)(3)は、今後も引き続き推進していくことが課題と考える。
- クリーンエネルギー自動車の普及促進に際し、利便性向上のために充電スタンドの充実を図ることが必要である。
- 初期投資が必要。市民レベルではなかなか進まない。

**アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築**

**《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》**

- 今年2月からスタートした「甲府タベスケ」に注目している。廃棄物の削減を目的としつつ、取組に参加する事業者、消費者、両者にとって負担をせずに効果を得られる仕組みがよい。認知度向上のための取組が課題と考える。
- 生ごみの堆肥化はもちろんのこと、生ごみの発生を抑える生活を広めたいと思う。

- いただきましたご意見等を踏まえ、実行計画の施策や取組を推進していきます。

## 【資料（1）】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

（委嘱期間：令和2年12月26日～令和4年12月25日）

代表区分	氏名	所属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木 嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦 一哉	公立大学法人山梨県立大学教授
行政関係者	雨宮 俊彦	山梨県環境・エネルギー部環境・エネルギー政策課長
地域関係者	岩澤 泰	山梨みらい農業協同組合 経済部長
	米山 敏彦	中央森林組合 代表理事組合長
	中込 良夫	協同組合 国母工業団地工業会 専務理事
	諸平 あゆみ	甲府商工会議所 環境問題委員会 副委員長
	清水 弘一	山梨交通㈱ 執行役員総務部長
エネルギー供給者	平井 万里	東京電力パワーグリッド㈱山梨総支社 甲府事務所次長
	漆原 栄彦	東京ガス山梨㈱ 取締役 企画総務部長
教育関係者	饗場 宏	甲府市公立小中学校長会
市民団体	梅原 隆子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤 公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	橋元 傑	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾 健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会 環境教育事業部長)
	志澤 美香	やまなし木質バイオマス協議会 事務局
市民代表	高添 裕一	甲府市自治会連合会 理事



【資料（2）】

平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

重点プロジェクト		
<p>人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ）</p>	<p><b>アクションプラン1</b></p> <p><b>環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進</b>                      《人づくり・地域づくり・協働の推進》                      （環境教育・生涯学習・協働）</p>	<p>1. 環境教育の推進                      2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進                      （産学官民協働の推進）</p>
	<p><b>アクションプラン2</b></p> <p><b>再生可能エネルギーの導入・普及促進</b>                      《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》                      （再生可能エネルギーの導入）</p>	<p>1. 太陽エネルギーの活用                      2. バイオマスエネルギーの活用                      3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用</p>
	<p><b>アクションプラン3</b></p> <p><b>潤いある森林の整備</b>                      《森林整備》                      （森林の整備）</p>	<p>1. 潤いと光あふれる森づくり                      （森林整備）</p>
	<p><b>アクションプラン4</b></p> <p><b>地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</b>                      《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》                      （ライフスタイルの転換）</p>	<p>1. 省エネ行動の普及促進                      2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進</p>
	<p><b>アクションプラン5</b></p> <p><b>賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</b>                      《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》                      （低炭素な都市への転換・緑化の推進）</p>	<p>1. 建物・機器による省エネの推進                      2. 緑あふれるまちづくり                      （都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）                      3. クリーンエネルギー自動車等の普及促進</p>
	<p><b>アクションプラン6</b></p> <p><b>持続可能な循環型社会の構築</b>                      《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》                      （持続可能な社会の形成）</p>	<p>1. 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進</p>
<p><b>地球温暖化への適応策</b></p>	<p>1. 健康被害の予防                      2. 自然（水）災害                      3. 水環境・水資源                      4. 食料                      5. 自然生態系</p>	

緩和策（6つのアクションプラン）

適応策

【2050年の甲府市の姿】スマートシティ甲府の創造

※サステイナブルな社会『持続可能な社会』

【資料（3）】

SDGs（エス・ディー・ジーズ） 持続可能な開発目標 17の目標

目 標	アクションプラン						適 応 策
	1	2	3	4	5	6	
 「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせよう」							
 「飢餓を終わらせ、全ての人が一を通して栄養のある十分な食料を確保できるようにし、持続可能な農業を促進しよう」							●
 「あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進しよう」							●
 「すべての人が受けられる構成で質の高い教育の完全普及を達成し、生涯にわたって学習できる機会を増やそう」	●						
 「男女平等を達成し、全ての女性及び女性の能力の可能性を伸ばそう」							
 「全ての人々が安全な水とトイレを利用できるよう環境衛生を改善し、ずっと管理していけるようにしよう」							●
 「全ての人々が、安くて安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう」		●		●	●		
 「誰も取り残さないで持続可能な経済成長を促進し、全ての人々が生産的で働きがいのある人間らしい仕事に就くことができるようにしよう」				●			
 「災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させイノベーションを推進していこう」					●		●
 「国内および国家間の不平等を見直そう」							
 「安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現しよう」				●	●		●
 「持続可能な方法で生産し、消費する取組を進めていこう」	●	●		●		●	
 「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じよう」	●	●	●	●	●	●	●
 「持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続可能な形で利用しよう」						●	●
 「陸上の生態系や森林の保護・回復と持続可能な利用を促進し、砂漠化と土地の劣化に対処し、生物多様性の損失を阻止しよう」			●				●
 「持続可能な開発のための平和的で誰も置き去りにしない社会を促進し、全ての人々が法や制度で守られる社会を構築しよう」							
 「目標達成のために必要な手段を強化し、持続可能な開発にむけて世界の人々で協力しよう」	●	●	●	●	●	●	●

甲府市地球温暖化対策実行計画  
令和3年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境政策課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4  
TEL055-241-4363 FAX055-241-6190

甲府市ホームページ

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/>